

トピックス Topics

事業承継百貨店

～SBI新生銀行による100年人生の窓口～

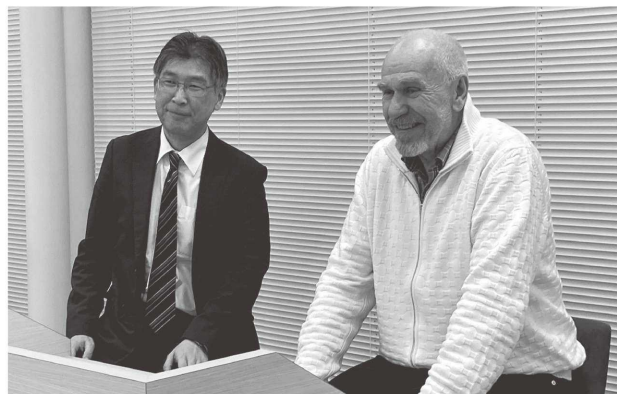
金融機関をはじめ事業承継の相談窓口の普及や第三者承継など、プル・プッシュ型を問わず事業承継メニューが整ったことで、後継者問題は徐々に改善している。しかし依然として、約6割が後継者不在という状況であり、事業承継は喫緊の課題であると言えよう。一方、企業経営者（オーナー）にとっては、足元の経営はもちろん、引退後や家族のこと、健康のことなど悩みは尽きない。

それならば「事業承継に関するお悩み解決のメニューを幅広くそろえよう」として発足したのがSBI新生銀行の『事業承継百貨店[®]』だ。

106法人がコンシェルジュ

“百貨店”というだけあってメニューは豊富だ。下表の通り、9階建てのフロアマップをイメージしており、各フロアに専門分野のコンシェルジュがいる、といえは分かりやすいだろうか。このコンシェルジュが106法人もいるのだ。事業承継というと、どうしても譲り渡すまでがフォーカスされる。しかし、譲渡側の経営者（オーナー）からすれば、その後の人生もある。人生100年時代、譲渡後数十年の人生プランを考えねばならない。

例えば、首尾よくバトンタッチし、手元に資金が残ったケース。フロアマップでは8F～9Fの「引退後の生き方を支える」の通り、コンシェルジュと相談して、若手の起業を応援することもできる。「上場企業ならば証券会社だけど、ベンチャー企業などに対してどのようにアプローチしたらよいのだろうか」となるが、事業承継百貨店では一例として、ベンチャー起業家や経営者とエンジェル投資家をつなぐ国際的なエンジェル投資家プラットフォームの日本法人KEIRETSU・JAPANを紹介。ここでは、投資を募る経営者のプレゼン



セミナーで懇談するKEIRETSU・JAPANのアレン・マイナー会長とSBI新生銀行の舛井正俊部長

が行われており、興味がある・支援したい案件が見つかるかもしれない。

100年人生の窓口

SBI新生銀行の事業承継金融部は、前身時代から20年以上にわたり、中堅・中小企業の事業再生・事業承継をオーダーメイドで支援。同行の舛井正俊部長は「事業承継では特定の専門家への相談から入るケースが多いものの、まとめるためには総合的な視点からの解決策が必要です」と語る。そこで、様々な分野のメンバーが連携して企業オーナーの100年人生を支えよう、となった。例えば、事業承継にあたって従業員のことが心配な経営者に対しては、再就職支援のメニューもある。「会員同士のつながりもあります。異分野の立場で事業承継の見え方は違いますので、悩んでいる方をメンバーで支えられれば」（同）。ぼんやりとした悩みごとでもOKだ。充実した人生を送る窓口として、事業承継百貨店はオープンしている。

事業承継百貨店 フロアマップ

フロア	テーマ	主な業種・分野	関連キーワード例
9F	引退後の生き方を支える	起業支援、寄付団体、自分史作成	社会貢献、生涯学習、振り返り
8F		介護、高齢者住宅、地方・海外移住	健康、余暇活用
7F	事業の承継に必要な施策を行う	信託、保険、ファンド、M&A	従業員対応、経営者派遣、資産処分
6F			相続・資産承継
5F	事業の方向性を定める	コンサルティング、経営支援機関	経営学、計画策定
4F		弁護士、税理士、社労士等の士業	法務・税務・労務
3F	企業オーナーの気持ちに寄り添う	カウンセリング	かかりつけ相談、家族の問題
2F		経営者団体	ビジネス支援
1F	大きな方向性を考える	公的機関、シンクタンク、調査機関、広告	政策提言、調査、メディア